

# 私だけのきもの創作特集

0さん（38才）から創作きもの制作メモを頂きました。  
0さんが出会った感動のきものが、ご自身の人生の宝物へと  
変わった素敵な創作特集です。  
頂きましたメモに基づいてご紹介させていただきます。



## 創作のコンセプト

<家族の絆を感じることができきものを創造したい>

創作のコンセプトを形創る2つのテーマ

- 1、ご自分の家が代々受け継いできた大切な家紋をデザインに含めたい。
- 2、ご自分の子供達の誕生日に咲く花をデザイン化したい。



## 0さんの「きものへの想い」

ここが大事！

出会ったきものどどのように付き合いたいのか、  
0さんは自分の想いを深めていかれました。

「この着物を着たいと思ったのは、生地の色艶が素敵だったから」

「帯と帯締・帯揚・半襟・羽織などの組み合わせを沢山楽しめる」

「背に紋を入れたら、着る場所が限られてしまうが、  
八掛に表現すればならその心配をしなくてすむ」

「色艶を楽しみたいから色数は増やさないで、  
墨絵のように一つの色の濃淡で表現してほしい」

「きもの裏地の 八掛に刺繍を入れたい！」

ここに刺繍を入れたい！

素敵な  
着物との  
出会い



お礼も、「2018樹華屋きものin米品」開催中  
素敵な紫紺の「花 びら散らし」の着物  
との出会い。着物の制作コンセプトが  
イメージにピッタリ、その着物をベー  
スしました。

八掛  
生地

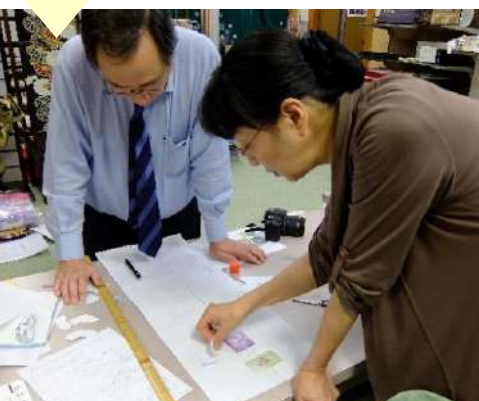
## ★打合わせの風景です★



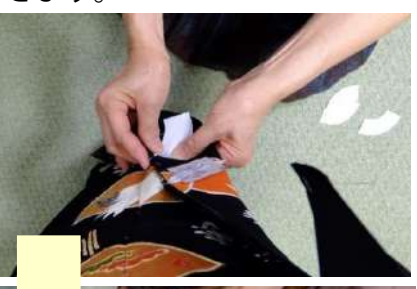
0さんのイメージに合う誕生花のモチーフを  
様々な資料の中から、皆で探します。



モチーフが見つかりと実際の大きさになる様に  
寸法を決めます。



経験と知識をフル稼働！  
「阿吽の呼吸」でデザインを固めて行  
きます。



机上の計算だけでなく  
素敵に見える位置や大きさを確認して  
寸法を測ります。

着物は見本です



きものは「着た時」が  
一番素敵でなければなりません！



0さんと一緒に打ち合わせて  
出来上がった大切なイメージを  
写真にも保存します。



モチーフの大きさ、配置、等を  
シュミレーション画像を見なが  
ら打ち合わせて実際大きさの  
原画を作り制作依頼の草稿を  
作成して行きます。



実際は0さんと一緒に  
ワイワイと楽しく  
やりました

皆でお菓子を食べたり  
お話をしたり  
楽しくのんびり  
やりました♪

何回もシュミレーショ  
ンしながら素敵なきものを  
創造して行きます。

ここが大事！

## 第1のテーマ

0さんの先祖から  
伝わる家族の家紋  
『三つ扇』紋

目標

八掛にデザインして「私だけのきもの」  
を楽しみたい！

## 第2のテーマ

ご家族（ご主人様、子供さん）  
の誕生日を表現

「桜」の花のお誕生日

「藤」の花のお誕生日

「撫子」の花のお誕生日

## ★打合わせの流れです★



紙面に扇と花のイメージを配置



「桜」と「撫子」は少し大きめの方が素敵だよね



舞う様な動きで流れをつけようか...

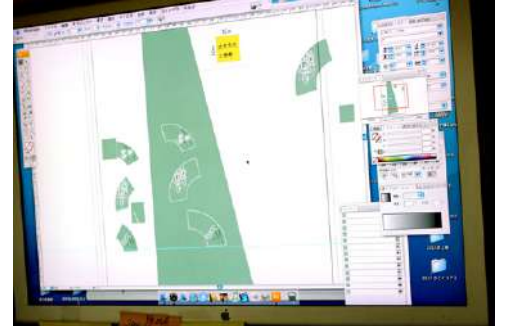


扇と花の配置がまとまってきました！

同サイズの原稿（草稿）を作成。

八掛への加工は刺繍加工として、「扇」の家紋の  
枠と「花」のみをグリーン色の濃淡で刺繍を施す  
ことになりました。

実際は、刺繍で表現しきれない部分を手描加工  
により染料による表現を加えました。



出会ったきものに…  
私たち家族の悠久の絆と  
未来への希望の輝きを願い  
素材の本質と加工の深い意味あい  
を含めて創造することにより  
1枚の着物が  
本当に大切なきものになりました。  
2020 3月吉日(0さんのメモより)

